安全データシート



キット 化学品の名称 キット カタログ番号 Autoimmune EIA Anti-tissue tTg IgG 4252280

改訂日 2022-11-15

構成品

カタログ番号	化学品の名称
4252221, 4252222, 4252223, 4252224, 4252225, 4252226, 4252241,	Autoimmune EIA Calibrators A, B, C, D, E, F
4252242, 4252243, 4252244, 4252245, 4252246, 4252261, 4252262,	
4252263, 4252264, 4252265, 4252266, 4252281, 4252282, 4252283,	
4252284, 4252285, 4252286, 4252321, 4252322, 4252323, 4252324,	
4252325, 4252326, 4252341, 4252342, 4252343, 4252344, 4252345,	
4252346	
4252229, 4252249, 4252269, 4252289, 4252329, 4252349	Autoimmune EIA Negative Control
4252228, 4252248, 4252268, 4252288, 4252328, 4252348	Autoimmune EIA Positive Control
4252227, 4252247, 4252267, 4252287, 4252327, 4252347	Autoimmune EIA Cut-off Control
4252272	Autoimmune EIA Sample Buffer 5X
4252275	Autoimmune EIA Wash Solution Concentrate
4252230, 4252250, 4252270, 4252290, 4252330, 4252350	Autoimmune EIA Conjugate
4252274	Autoimmune EIA Stop Solution
4252273	Autoimmune EIA TMB Substrate

KITJ / EN ページ 1/65



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2022-10-19 改訂番号 2.1

化学品及び会社情報

化学品の名称 Autoimmune EIA Calibrators A, B, C, D, E, F

カタログ番号

4252221, 4252222, 4252223, 4252224, 4252225, 4252226, 4252241, 4252242, 4252243, 4252244, 4252245, 4252246, 4252261, 4252262, 4252263, 4252264, 4252265, 4252266, 4252281, 4252282, 4252283, 4252284, 4252285, 4252286, 4252321, 4252322, 4252323, 4252324, 4252325, 4252326, 4252341, 4252342, 4252342, 4252344, 4252345, 4252346

安全データシート の供給者の詳細

製造者 日本法人/連絡先住所

Bio-Rad Laboratories Inc. Bio-Rad Laboratories, Diagnostic 140-0002 1000 Alfred Nobel Drive Group

東京都品川区東品川2-2-24 Hercules, CA 94547 4000 Alfred Nobel Drive 天王洲セントラルタワー20F Hercules, California 94547 USA バイオ・ラッド ラボラトリーズ

USA 株式会社

テクニカルサービス 0120-996598

diag_jp@bio-rad.com

緊急連絡電話番号 CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

いにして 左吟出土中世 の出版マナ 乍り出ってんし

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 Invitro実験用試薬又は成分。

使用上の制限 情報なし

危険有害性の要約

急性毒性(経皮) 急性毒性(吸入) - ガス 急性毒性(吸入) - 蒸気 急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト 皮膚腐食性/刺激性 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 呼吸器感作性	分類できない 分類できない 区分に該当しない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない
急性毒性(吸入) - ガス 急性毒性(吸入) - 蒸気 急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト 皮膚腐食性/刺激性 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 呼吸器感作性	区分に該当しない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない
急性毒性(吸入) - 蒸気 急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト 皮膚腐食性/刺激性 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 呼吸器感作性	分類できない 分類できない 分類できない 分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト 皮膚腐食性/刺激性 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 呼吸器感作性	分類できない 分類できない 分類できない
皮膚腐食性/刺激性 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 呼吸器感作性	分類できない 分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 呼吸器感作性 ダ	分類できない
呼吸器感作性	
	分類できない
	分類できない
	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響 排列 おんしゅう おんしゅう おんしゅう おんしゅう おんしゅう おんしゅう おんしゅう おんしゅう おんしゅう しゅうしゅう しゅう	受乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露) タイプ () () () () () () () () () (分類できない
誤えん有害性	分類できない
	分類できない
	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

安全対策

・該当しない

応急措置

該当しない

保管

・該当しない 廃棄 該当しない

他の危険有害性

動物由来の成分が含まれています。(ウシ)。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

製品には、指定の濃度で健康に対して危険有害性であると考えられる物質は含まれていない。

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質 該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人

予防措置 用保護具を使用すること。 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。 **急時措置**

緊急対応を行う 者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない。 許容濃度

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値 生物学的職業性ばく 露限界値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場

換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

<u>保護具</u>

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

眼及び/又は顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

水溶液 物理状態 液体 黄色 色 臭い 無臭

情報なし 臭いのしきい値

融点/凝固点

° C / 212 ° F 沸点、初留点及び沸騰範囲

データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし 爆発又は可燃の下限界 データなし 情報なし 該当しない 引火点 情報なし データなし 蒸発速度 情報なし 自然発火点 情報なし データなし 分解温度 情報なし 情報なし На

粘度

動粘性率 データなし 情報なし データなし 動的粘度 情報なし 水と 混和 水への溶解度

データなしデータなし 溶解度 n ーオクタノール/水分配係数(log値) .. 蒸気圧 データなし 密度及び/又は比重

相対密度 データなし データなし 相対ガス密度 粒子特性

粒径 データなし 該当しない データなし 粒径分布 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化性 情報なし

10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

金属との接触を避けてください。 この製品にはアジ化ナトリウムが含まれています。 ご ジ化ナトリウムは、配管システムに含まれる銅、真ちゅう、鉛、およびはんだと反応して、爆発性化合物および毒性ガスを生成するおそれがあります。 危険有害反応可能性

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

避けるべき条件 情報なし。 混触危険物質 金属。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている **ATEmix(吸入 - 粉じん/ミスト**) 8.30 mg/l

症状 情報なし

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 経口 吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性 分解性 情報なし。

生態蓄積性 情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響 情報なし。

13. 廃棄上の注意

現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。 アジ化ナトリウムを含む溶液を金属性配管に廃棄する場合は、配管を頻繁に水で洗い流してくださ 残余廃棄物

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

規制対象外 <u>IMDG</u>

ADR 規制対象外

IATA 規制対象外

15. 適用法令

国内規制

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法

該当しない

通知対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

自己反応性物質、第5類、第1種、危険等級I、10kg

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

労働基準法

化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び化学物質の成分及び化合物と 労働者の健康障害を指定する通告別表第1の2、項目4の1

水道法

水道法第4条、法定水質基準

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

<u>国際インベントリー</u>

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2022-10-19

改訂記録 既存情報のフォーマット変更・更新済。

最大限界值 天井値 経皮吸収 感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質·特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (米国環境保護庁) 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質

フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース

国際統一化学情報データベース(IUCLID)

日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP) 米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed) 米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット 世界保健機構

免責事項

元見 〒場 このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2022-10-19 改訂番号 2.1

化学品及び会社情報

日本法人/連絡先住所

株式会社

東京都品川区東品川2-2-24

天王洲セントラルタワー20F

バイオ・ラッド ラボラトリーズ

化学品の名称 Autoimmune EIA Negative Control

カタログ番号 4252229, 4252249, 4252269, 4252289, 4252329, 4252349

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者

Bio-Rad Laboratories Inc. Bio-Rad Laboratories, Diagnostic 140-0002 1000 Alfred Nobel Drive Group Hercules, CA 94547

4000 Alfred Nobel Drive **USA** Hercules, California 94547 USA

テクニカルサービス 0120-996598

diag_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637 緊急連絡電話番号

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 Invitro実験用試薬又は成分。

使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類
世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない
4.4. + 4.4.4.4.1.1.1

世外調和ングアム(GRS)による厄陕物有音性の物質でも混合物でもない	
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

安全対策

・該当しない

応急措置

・該当しない

保管

・該当しない

廃棄

該当しない

他の危険有害性

動物由来の成分が含まれています。(ウシ)。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

製品には、指定の濃度で健康に対して危険有害性であると考えられる物質は含まれていない。

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

労働安全衛生法

<u>通知対象物質</u> 該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

空気の新鮮な場所に移すこと。 吸入した場合

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。 適切な消火剤

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置

用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。 急時措置

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値 生物学的職業性ばく露限界値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

シャワー 設備対策

洗眼場

換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。 眼及び/又は顔面の保護具

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観 水溶液 物理状態 液体 色 黄色 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

融点/凝固点 一タなし 100 ° C / 212 ° F 初留点及び沸騰範囲 _ ータ なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 爆発又は可燃の上限界

データなし

備考 · 方法 情報なし

情報なし

情報なし

爆発又は可燃の下限界 データなし 情報なし 引火点 該当しない 情報なし データなし 蒸発速度 情報なし 自然発火点 情報なし データなし 分解温度 情報なし 情報なし nН 粘度

動粘性率 データなし データなし 動的粘度

水と 混和 水への溶解度 溶解度 データなし データなし n ーオクタノール/水分配係数(log値) データなし 蒸気圧

密度及び/又は比重 相対密度 データなし 相対ガス密度 データなし 粒子特性

粒径 データなし 該当しない データなし 粒径分布 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化性 情報なし

10:安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

金属との接触を避けてください。 この製品にはアジ化ナトリウムが含まれています。 ごジ化ナトリウムは、配管システムに含まれる銅、真ちゅう、鉛、およびはんだと反応して、爆発性化合物および毒性ガスを生成するおそれがあります。 危険有害反応可能性

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

避けるべき条件 情報なし。 混触危険物質 金属。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている **ATEmix(吸入 - 粉じん/ミスト**) 8.30 mg/l

症状 情報なし

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性 分解性 情報なし。

生態蓄積性 情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 オゾン層への有害性

他の有害影響 情報なし。

13. 廃棄上の注意

現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。 アジ化ナトリウムを含む溶液を金属性配管に廃棄する場合は、配管を頻繁に水で洗い流してくださ 残余廃棄物

い。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

規制対象外 <u>IMDG</u> ADR 規制対象外 規制対象外 <u>IATA</u>

15. **適用法令**

国内規制

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法

該当しない

通知対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

自己反応性物質、第5類、第1種、危険等級I、10kg

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

労働基準法

化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び化学物質の成分及び化合物と 労働者の健康障害を指定する通告別表第1の2、項目4の1

水道法第4条、法定水質基準

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

国際インベントリー

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2022-10-19

改訂記録 既存情報のフォーマット変更・更新済。

安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

<u>凡例 項目8: ぱく露防止及び保護措置</u> TWA TWA(時間加重平均)

最大限界值 天井値 経皮吸収 感作性物質

本SDS**の編集に使用した主要参考文献及びデータ源** 環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR) 米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (米国環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質

米国環境味識庁高生産単化子物員 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP) 米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)

米国医子図書館のPubMedナーダベース(NEM PubMed) 米国国家毒性プログラム(NTP) ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID) 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

免責事項
このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2022-10-19 改訂番号 2.1

1. 化学品及び会社情報

東京都品川区東品川2-2-24

化学品の名称 Autoimmune EIA Positive Control

カタログ番号 4252228, 4252248, 4252268, 4252288, 4252328, 4252348

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者 日本法人/連絡先住所

Bio-Rad Laboratories Inc.
1000 Alfred Nobel Drive
Group
東京都品

Hercules, CA 94547 4000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547 USA 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 0120-996598

 diag_jp@bio-rad.com

 緊急連絡電話番号
 CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 Invitro実験用試薬又は成分。

使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

<u>GRS 万策</u>		
## 異調和シュラテル	(CUC)による各陸物方宝	性の物質でも混合物でもない
世外副和フヘノム	(GDS)による 心 灰 初 行 古 i	1生の初貝でも、此口初でもない

急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

安全対策

・該当しない

応急措置

·<u>該</u>当しない

保管

・該当しない

廃棄

該当しない

他の危険有害性

動物由来の成分が含まれています。(ウシ)。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

製品には、指定の濃度で健康に対して危険有害性であると考えられる物質は含まれていない。

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

労働安全衛生法

<u>通知対象物質</u> 該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

空気の新鮮な場所に移すこと。 吸入した場合

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置

用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。 急時措置

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。 封じ込め方法

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値 生物学的職業性ばく露限界値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

シャワー 設備対策

洗眼場

換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。 眼及び/又は顔面の保護具

ータなし

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観 水溶液 物理状態 液体 色 黄色 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

融点/凝固点 一タなし 100 ° C / 212 ° F 初留点及び沸騰範囲

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 爆発又は可燃の上限界

データなし 情報なし

備考 · 方法 情報なし

情報なし

爆発又は可燃の下限界 データなし 情報なし 引火点 該当しない 情報なし データなし 蒸発速度 情報なし 自然発火点 情報なし データなし 分解温度 情報なし 情報なし nН 粘度

動粘性率 データなし 情報なし データなし 動的粘度 情報なし 水と 混和 水への溶解度

溶解度 データなし 情報なし データなし n ーオクタノール/水分配係数(log値) 情報なし データなし 蒸気圧 情報なし 密度及び/又は比重

相対密度 データなし 情報なし 相対ガス密度 データなし 情報なし 粒子特性

粒径 データなし 該当しない データなし 粒径分布 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化性 情報なし

10:安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

金属との接触を避けてください。 この製品にはアジ化ナトリウムが含まれています。 ごジ化ナトリウムは、配管システムに含まれる銅、真ちゅう、鉛、およびはんだと反応して、爆発性化合物および毒性ガスを生成するおそれがあります。 危険有害反応可能性

避けるべき条件 情報なし。 混触危険物質 金属。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている **ATEmix(吸入 - 粉じん/ミスト**) 8.30 mg/l

症状 情報なし

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性 分解性 情報なし。

生態蓄積性 情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 オゾン層への有害性

他の有害影響 情報なし。

13. 廃棄上の注意

現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。 アジ化ナトリウムを含む溶液を金属性配管に廃棄する場合は、配管を頻繁に水で洗い流してくださ 残余廃棄物

い。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

規制対象外 <u>IMDG</u> ADR 規制対象外 規制対象外 <u>IATA</u>

15. **適用法令**

国内規制

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法

該当しない

通知対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

自己反応性物質、第5類、第1種、危険等級I、10kg

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

労働基準法

化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び化学物質の成分及び化合物と 労働者の健康障害を指定する通告別表第1の2、項目4の1

水道法第4条、法定水質基準

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

国際インベントリー

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2022-10-19

改訂記録 既存情報のフォーマット変更・更新済。

安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

<u>凡例 項目8: ぱく露防止及び保護措置</u> TWA TWA(時間加重平均)

最大限界值 天井値 経皮吸収 感作性物質

本SDS**の編集に使用した主要参考文献及びデータ源** 環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR) 米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (米国環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質

木国環境体験灯筒生性里にナ物県フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP) 米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)

米国医子図書館のPubMedナーダベース(NEM PubMed) 米国国家毒性プログラム(NTP) ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID) 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

免責事項
このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



USA

ていて 八粨

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2022-10-19 改訂番号 2.1

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Autoimmune EIA Cut-off Control

カタログ番号 4252227, 4252247, 4252267, 4252287, 4252327, 4252347

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者 日本法人/連絡先住所

Bio-Rad Laboratories Inc.
1000 Alfred Nobel Drive
Hercules, CA 94547

Bio-Rad Laboratories, Diagnostic 140-0002 東京都品
4000 Alfred Nobel Drive 天干洲セ

4000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547 USA 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

東京都品川区東品川2-2-24

株式会社

テクニカルサービス 0120-996598

 diag_jp@bio-rad.com

 緊急連絡電話番号
 CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 Invitro実験用試薬又は成分。

使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

UIIU /1 72			
₩︎貝餌和シフテ	ム(GHS)による危険物有語	主性の物質でも 混合	物でも かい
ニュー・ロック アン・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・	み(ひ)ひりにみる 心が失物分言		かしていない

<u>世界時間ファイス(dito)にある地域物質自住の物質でも成自物でも多い</u>	
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

安全対策

・該当しない

応急措置

・該当しない

保管

・該当しない

廃棄

該当しない

他の危険有害性

動物由来の成分が含まれています。(ウシ)。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

製品には、指定の濃度で健康に対して危険有害性であると考えられる物質は含まれていない。

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

労働安全衛生法

<u>通知対象物質</u> 該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

空気の新鮮な場所に移すこと。 吸入した場合 皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置

用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。 **急時措置**

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

<u>取扱い</u>

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件製品とラベルの指示に従って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

生物学的職業性ばく露限界値 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場

換気システム

環境ばく露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

眼及び/又は顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具特別な保護具は必要とされない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観水溶液物理状態液体色黄色臭い無臭臭いのしきい値情報なし

<u>特性</u> <u>値</u> 融点/凝固点 データなし 沸点、初留点及び沸騰範囲 100 ° C / 212 ° F

点、初留点及び沸騰範囲 100 ° C / 212 ° **燃性** データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 爆発又は可燃の上限界

データなし情報なし

備考 · 方法 情報なし

目形なし

情報なし

爆発又は可燃の下限界 データなし 情報なし 引火点 該当しない 情報なし データなし 蒸発速度 情報なし 自然発火点 情報なし データなし 分解温度 情報なし 情報なし nН 粘度

動粘性率 データなし 情報なし データなし 動的粘度 情報なし 水と 混和 水への溶解度

溶解度 データなし 情報なし データなし n ーオクタノール/水分配係数(log値) 情報なし データなし 蒸気圧 情報なし 密度及び/又は比重

相対密度 データなし 情報なし 相対ガス密度 データなし 情報なし 粒子特性

粒径 データなし 該当しない データなし 粒径分布 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化性 情報なし

10:安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

金属との接触を避けてください。 この製品にはアジ化ナトリウムが含まれています。 ごジ化ナトリウムは、配管システムに含まれる銅、真ちゅう、鉛、およびはんだと反応して、爆発性化合物および毒性ガスを生成するおそれがあります。 危険有害反応可能性

避けるべき条件 情報なし。 混触危険物質 金属。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている **ATEmix(吸入 - 粉じん/ミスト**) 8.30 mg/l

症状 情報なし

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性 分解性 情報なし。

生態蓄積性 情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 オゾン層への有害性

他の有害影響 情報なし。

13. 廃棄上の注意

現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。 アジ化ナトリウムを含む溶液を金属性配管に廃棄する場合は、配管を頻繁に水で洗い流してくださ 残余廃棄物

い。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

規制対象外 <u>IMDG</u> ADR 規制対象外 規制対象外 <u>IATA</u>

15. **適用法令**

国内規制

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法

該当しない

通知対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

自己反応性物質、第5類、第1種、危険等級I、10kg

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

労働基準法

化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び化学物質の成分及び化合物と 労働者の健康障害を指定する通告別表第1の2、項目4の1

水道法第4条、法定水質基準

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

国際インベントリー

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2022-10-19

改訂記録 既存情報のフォーマット変更・更新済。

安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

<u>凡例 項目8: ぱく露防止及び保護措置</u> TWA TWA(時間加重平均)

最大限界值 天井値 経皮吸収 感作性物質

本SDS**の編集に使用した主要参考文献及びデータ源** 環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR) 米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (米国環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質

木国環境体験灯筒生性里にナ物県フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP) 米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)

米国医子図書館のPubMedナーダベース(NEM PubMed) 米国国家毒性プログラム(NTP) ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID) 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

免責事項
このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2022-10-19 改訂番号 1.1

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Autoimmune EIA Sample Buffer 5X

カタログ番号 4252272

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者 日本法人/連絡先住所

Bio-Rad Laboratories Inc.
1000 Alfred Nobel Drive
Bio-Rad Laboratories, Diagnostic 140-0002 東京都品川区東品川2-2-24

Hercules, CA 94547 4000 Alfred Nobel Drive 天王洲セントラルタワー20F Hercules, California 94547 バイオ・ラッド ラボラトリーズ

USA パイオ・フ 株式会社

テクニカルサービス 0120-996598

 diag_jp@bio-rad.com

 緊急連絡電話番号
 CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 Invitro実験用試薬又は成分。

使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類				
世界調和シス	テム(GHS)によ	る危険物有害性の	り物質でも混っ	合物でもない

急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

安全対策

・該当しない

応急措置

·<u>該</u>当しない

保管

・該当しない

廃棄

該当しない

他の危険有害性

動物由来の成分が含まれています。(ウシ)。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

製品には、指定の濃度で健康に対して危険有害性であると考えられる物質は含まれていない。

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

労働安全衛生法

<u>通知対象物質</u> 該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

空気の新鮮な場所に移すこと。 吸入した場合

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置

用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。 急時措置

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。 封じ込め方法

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値 生物学的職業性ばく露限界値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

シャワー 設備対策

洗眼場

換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。 眼及び/又は顔面の保護具

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観 水溶液 物理状態 液体 色 黄色 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

融点/凝固点 ―タなし 初留点及び沸騰範囲

ータなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 爆発又は可燃の上限界

/ 212 ° F 100 °C

情報なし

備考 · 方法 情報なし

データなし 情報なし

爆発又は可燃の下限界 データなし 情報なし 引火点 該当しない 情報なし データなし 蒸発速度 情報なし 自然発火点 情報なし データなし 情報なし 分解温度 情報なし nН 粘度

動粘性率 データなし 情報なし データなし 動的粘度 情報なし

水と 混和 水への溶解度 溶解度 データなし 情報なし データなし n ーオクタノール/水分配係数(log値) 情報なし データなし 蒸気圧 情報なし

密度及び/又は比重 相対密度 データなし 情報なし 相対ガス密度 データなし 情報なし

粒径 データなし 該当しない データなし 粒径分布 該当しない

その他の情報

粒子特性

爆発性 情報なし 酸化性 情報なし

10:安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

金属との接触を避けてください。 この製品にはアジ化ナトリウムが含まれています。 ごジ化ナトリウムは、配管システムに含まれる銅、真ちゅう、鉛、およびはんだと反応して、爆発性化合物および毒性ガスを生成するおそれがあります。 危険有害反応可能性

避けるべき条件 情報なし。 混触危険物質 金属。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

<u>急性毒性</u>

分類できない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている ATEmix(経口) 25,000.00 mg/kg

略語及び頭文字 Rat: ラット Rabbit: ウサギ

症状 情報なし

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性 分解性 情報なし。

生態蓄積性 情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響 情報なし。

13. 廃棄上の注意

現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。 アジ化ナトリウムを含む溶液を金属性配管に廃棄する場合は、配管を頻繁に水で洗い流してくださ 残余廃棄物

い。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

IMDG 規制対象外

規制対象外 <u>ADR</u>

IATA 規制対象外

15. 適用法令

国内規制

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法

該当しない

通知対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

自己反応性物質、第5類、第1種、危険等級I、10kg

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

労働基準法

化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び化学物質の成分及び化合物と 労働者の健康障害を指定する通告別表第1の2、項目4の1

水道法

水道法第4条、法定水質基準

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

国際インベントリー

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

2022-10-19 改訂日

改訂記録 既存情報のフォーマット変更・更新済。

安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA(時間加重平均) 最大限界值 TWA 天井値 経皮吸収 感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR) 米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局

欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (米国環境保護庁)

EPA (米国環境保護庁) 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSU(半国学働安全衛生研究所)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP) 米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed) 米国国家毒性プログラム(NTP) ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット 世界保健機構

水見乗場 このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2022-10-19 改訂番号 1.1

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Autoimmune EIA Wash Solution Concentrate

カタログ番号 4252275

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者 日本法人/連絡先住所

Bio-Rad Laboratories Inc.
1000 Alfred Nobel Drive
Bio-Rad Laboratories, Diagnostic 140-0002 東京都品川区東品川2-2-24

Hercules, CA 94547 4000 Alfred Nobel Drive 天王洲セントラルタワー20F Hercules, California 94547 バイオ・ラッド ラボラトリーズ

USA パイオ・フ 株式会社

テクニカルサービス 0120-996598

 diag_jp@bio-rad.com

 緊急連絡電話番号
 CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 Invitro実験用試薬又は成分。

使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

<u>GHS 分類</u>			
世界調和システム(((HS)による危険物有:	害性の物質でも?	昆合物でもない

Eが調化ノスノム(GIO/による)に関物有音圧の物質でも成ら物でもない	
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

安全対策

・該当しない

応急措置

・該当しない

保管

・該当しない

廃棄

該当しない

他の危険有害性

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

10 1 10 M M M M M M M M M M M M M M M M						
化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベーントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
ポリソルベート 20	9005-64-5	1 - 2.5	既存	(8)-55	既存	(8)-55

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質 該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法 水噴霧でドラムを冷却すること。

警告: 放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置 用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。 急時措置

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。 封じ込め方法

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値 生物学的職業性ばく露限界値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

シャワー 設備対策

洗眼場

換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。 眼及び/又は顔面の保護具

ータなし

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観 水溶液 物理状態 液体 色 変化する 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

融点/凝固点 ―タなし / 212 ° F 初留点及び沸騰範囲 100 °C

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし **備考 · 方法** 情報なし

情報なし

情報なし

_____ データなし 爆発又は可燃の下限界 情報なし 引火点 該当しない 情報なし データなし 蒸発速度 情報なし 自然発火点 情報なし データなし 情報なし 分解温度 情報なし nН 粘度

動粘性率 データなし 情報なし データなし 動的粘度 情報なし 水と 混和 水への溶解度

溶解度 データなし 情報なし n ーオクタノール/水分配係数(log値) データなし 情報なし データなし 蒸気圧 情報なし 密度及び/又は比重

相対密度 データなし 情報なし 相対ガス密度 データなし 情報なし 粒子特性

粒径 データなし 該当しない データなし 粒径分布 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化性 情報なし

10:安定性及び反応性

反応性 情報なし。

通常の条件下で安定。 化学的安定性

金属との接触を避けてください。 この製品にはアジ化ナトリウムが含まれています。 ごジ化ナトリウムは、配管システムに含まれる銅、真ちゅう、鉛、およびはんだと反応して、爆発性化合物および毒性ガスを生成するおそれがあります。 危険有害反応可能性

避けるべき条件 情報なし。 混触危険物質 金属。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

なし。 静電放電に対する感度 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

<u>急性毒性</u>

分類できない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている ATEmix(経口) 16,591.90 mg/kg

化学名又は一般名	経口 LD50	経皮LD50	吸入 LC50
ポリソルベート 20	= 37000 mg/kg (Rat)	_	> 5.1 mg/L (Rat) 4 h

略語及び頭文字 Rat: ラット Rabbit: ウサギ

症状 情報なし

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性 分解性 情報なし。

生態蓄積性 情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

情報なし。 他の有害影響

13. 廃棄上の注意

現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。 アジ化ナトリウムを含む溶液を金属性配管に廃棄する場合は、配管を頻繁に水で洗い流してくださ 残余廃棄物

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

規制対象外 <u>IMDG</u>

ADR 規制対象外

<u>IATA</u> 規制対象外

15. 適用法令

国内規制

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法

該当しない

通知対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

自己反応性物質、第5類、第1種、危険等級I、10kg

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

下表は、記載されている、該当すると考えられるカットオフ値を超える成分を示す

化学名又は一般名	CAS番号	化審法
ポリソルベート 20	9005-64-5	優先評価化学物質

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

労働基準法

化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び化学物質の成分及び化合物と 労働者の健康障害を指定する通告別表第1の2、項目4の1

水道法

水道法第4条、法定水質基準

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

国際インベントリー

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2022-10-19

既存情報のフォーマット変更・更新済。

−タシ−ト で使用されている略語及び頭文字のキ−又は凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置 TWA(時間加重平均)

最大限界值 天井値 経皮吸収 感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質·特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (米国環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質

プードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID)

日本政府によるGHS分類

オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所) 米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP) 米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed) 米国国家毒性プログラム(NTP) ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID) 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット 世界保健機構

世界保健機構

<u>免責事項</u>

元見 〒場 このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

改訂日 2022-10-19

改訂番号 1

化学品及び会社情報

化学品の名称 Autoimmune EIA Conjugate

カタログ番号 4252230, 4252250, 4252270, 4252290, 4252330, 4252350

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者 日本法人/連絡先住所

Bio-Rad Laboratories Inc. Bio-Rad Laboratories, Diagnostic 140-0002 1000 Alfred Nobel Drive Group

東京都品川区東品川2-2-24 Hercules, CA 94547 4000 Alfred Nobel Drive 天王洲セントラルタワー20F **USA** Hercules, California 94547 バイオ・ラッド ラボラトリーズ USA

株式会社

テクニカルサービス 0120-996598

diag_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637 緊急連絡電話番号

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 Invitro実験用試薬又は成分。

使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類			
世界調和システム	(GHS)による危険物	有害性の物質でも	混合物でもない
刍性害性/怒□\			

世外調和ングアム(GDS)による厄陕初有吉住の初貝でも庇吉初でもない	
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

安全対策

・該当しない

応急措置

・該当しない

保管

・該当しない

廃棄

該当しない

他の危険有害性

動物由来の成分が含まれています。(ウシ)。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

製品には、指定の濃度で健康に対して危険有害性であると考えられる物質は含まれていない。

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

労働安全衛生法

<u>通知対象物質</u> 該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

空気の新鮮な場所に移すこと。 吸入した場合

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。 適切な消火剤

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置

用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。 急時措置

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件製品とラベルの指示に従って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

生物学的職業性ばく露限界値 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場

換気システム

環境ばく露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

眼及び/又は顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具特別な保護具は必要とされない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観水溶液物理状態液体色変化する臭い無臭臭いのしきい値情報なし

特性 <u>値</u> 融点/凝固点 データなし 沸点、初留点及び沸騰範囲 データなし データなし データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 爆発又は可燃の上限界 タなし 情報なし タなし 情報なし

備考 · 方法 情報なし

データなし 情報なし

爆発又は可燃の下限界 データなし 情報なし 引火点 該当しない 情報なし データなし 蒸発速度 情報なし 情報なし情報なし 自然発火点 データなし 分解温度 情報なし nН

粘度

動粘性率 データなし 情報なし データなし 動的粘度 情報なし

水と 混和 水への溶解度 溶解度 データなし データなし n ーオクタノール/水分配係数(log値) データなし 蒸気圧

密度及び/又は比重 相対密度 データなし 相対ガス密度 データなし 粒子特性

情報なし 情報なし 情報なし 情報なし

情報なし

粒径 データなし 該当しない データなし 粒径分布 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化性 情報なし

10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。 危険有害反応可能性 通常の条件下で安定。

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 なし。 機械的衝撃に対する感度

11. 有害性情報

急性毒性

分類できない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている ATEmix(経口) 25,000.00 mg/kg

ATEmix(吸入 - 粉じん/ミスト) 16.60 mg/l

症状 情報なし

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。 , ,

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性 情報なし。

生態蓄積性情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

 IMDG
 規制対象外

 ADR
 規制対象外

 IATA
 規制対象外

改訂日 2022-10-19

15. 適用法令

国内規制

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない 2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

労働安全衛生法

Autoimmune EIA Conjugate

該当しない 通知対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない 消防法: 該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

国際インベントリー

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること

16. その他の情報

Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2022-10-19

この安全データシートには大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ 改訂記録

い。

安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA(時間加重平均) 天井値 最大限界值 TWA 経皮吸収 感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR) 米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA) EPA (米国環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル(Food Research Journal)

たけりーデジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP) 米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)

米国医子図音館のPubMedナーダベース(NEM PubMed) 米国国家毒性プログラム(NTP) ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID) 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム

経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

兄員事場 このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、 情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃 棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様では

ありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

改訂日 2022-10-19

改訂番号 1

化学品及び会社情報

化学品の名称 Autoimmune EIA Stop Solution

カタログ番号 4252274

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者 日本法人/連絡先住所

Bio-Rad Laboratories Inc. Bio-Rad Laboratories, Diagnostic 140-0002 1000 Alfred Nobel Drive Group

東京都品川区東品川2-2-24 4000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547 天王洲セントラルタワー20F **USA** Hercules, California 94547 バイオ・ラッド ラボラトリーズ USA

株式会社

テクニカルサービス 0120-996598

diag_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637 緊急連絡電話番号

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 使用上の制限 Invitro実験用試薬又は成分。

情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	
金属腐食性化学品	区分 1
急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
呼吸器感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分に該当しない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	区分に該当しない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	区分 2
区分 2 呼吸器、歯。	
誤えん有害性	区分に該当しない
水生環境有害性 短期(急性)	区分 2
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない
	<u> </u>

ラベル要素



注意喚起語 危険有害性情報

皮膚刺激

重篤な眼の損傷

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ 水生生物に毒性

金属腐食のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害のおそれ: 呼吸器、歯。

注意書き 安全対策

- ・取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと・環境への放出を避けること・他の容器に移り替えないこと・他の容器に移り返するない。

- ・保護手袋/保護衣及び眼/顔面保護具を着用すること

応急措置

- ・該当しない ・眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も 洗浄を続けること
 ・直ちに医師に連絡するこ

- ・皮膚には耐に を帰る。 多量の水と石けん(鹸)で洗うこと・皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること・物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること

保管

・耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器に保管すること

廃棄

・該当しない

他の危険有害性

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物

化学名文は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベーントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
塩化水素	7647-01-0	2.5 - 5	既存	(1)-215	既存	(1)-215

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

労働安全衛生法

。 施行会第18条の2第1号 第2号・別表第9及び第2号・別表3

$\Delta \pi^{3/}$ 本 V^2 、旭日日 π^{10} 本 V^2 和「つ、 π^2 つ M X π^{1} X X Y X Y					
	化学名又は一般名	CAS番号	区分	政令番号	含有率 %
	塩化水素	7647-01-0	通知対象物質	Attached table 9-098	<10

表示対象物質 注第57条 施行会第18条第1号 第2号·别表第9及76第3号·别表3

<u> </u>	カムコ 川以和/及いわり コ	711283		
化学名又は一般名	CAS番号	区分	政令番号	含有率 %
塩化水素	7647-01-0	表示対象物質	Attached table 9-098	<10

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

一般的なアド バイス 治療を行う医師にこのSDSを示すこと。 直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。 症状が出た場合には、直ちに医師の手当てをうけること。

皮膚に付着した場合 直ちに石けん(鹸)と多量の水で少なくとも15分間洗い落とすこと。 刺激が生じて長引くと きは、医師の手当てをうけること。

眼に入った場合

直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 洗っている間は眼を大きく広げたままにすること。 受傷部をこすらないこと。 直ちに医師に診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。 意識のない者には、何も口から与えてはならない。 無理に吐かせない

こと。医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 灼熱感

徴候症状

応急措置をする者の保護に必要な注意 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 個人用保護衣を着用すること(項目8を参照)。

事項

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人

予防措置 用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 十分換気されているか確認すること。 指定さ **急時措置** れた個人用保護具を着用すること。 人員を安全な区域に退避させること。 急時措置

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

その他の情報 項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。

取扱い及び保管上の注意

取扱い

産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 十分換気されているか確認する こと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 安全取扱注意事項

適切な手袋及び眼/顔面保護具を着用する。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。機器、作業区域及び衣類を定期的にクリーニングすることが推奨される。 衛生対策

皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。

保管

安全な保管条件 容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。湿気を遮断すること。

施錠して保管すること。 子供の手の届かない場所に保管すること。 隔離して保管すること。 製品とラベルの指示に従って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

化学名又は一般名	化学名又は一般名 日本産業衛生学会		ACGIH TLV	
塩化水素 7647-01-0	Ceiling: 2 ppm Ceiling: 3.0 mg/m ³	-	Ceiling: 2 ppm	

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値が設定された危険有害物質を一切含んでいない。 生物学的職業性ばく 露限界値

シャワー 洗眼場 設備対策

換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

粒径

粒径分布

通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、 換気及び排気が必要になる。 呼吸用保護具

手の保護具 適切な手袋を着用する。 不浸透性手袋。

眼及び/又は顔面の保護具 密封性の高い安全ゴーグル。

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用する。 長袖の衣類。

9. 物理的及び化学的性質

該当しない

該当しない

物理的及び化学的性質に関する情報

外観	水溶液
物理状態	液体
色	無色
臭い	無臭
臭いのしきい値	情報なし

<u>特性</u> 融点/凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲	<u>6</u> 0 ° C / 32 ° F > 100 ° C / 212 ° F	<u>備考 · 方法</u>
可燃性	データなし	情報なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 爆発又は可燃の上限界	データなし	情報なし
爆発又は可燃の下限界	データなし	情報なし
引火点 蒸発速度	該当しない	情報なし 情報なし
自然発火点	データなし データなし	情報なし
分解温度 pH	データなし 1	情報なし
pH 粘度		
動粘性率	データなし	情報なし
動的粘度 水への溶解度	データなし 水と混和	情報なし
溶解度	データなし	情報なし
n ーオクタノール/水分配係数(log値) 蒸気圧	データなし データなし	情報なし 情報なし
密度及び/又は比重		
相対密度 相対ガス密度	データなし データなし	情報なし 情報なし
カスプス音及 粒子特性) — > '4 C	T月刊なし
	<u> </u>	=4 414 1 4. 4 .

データなし

データなし

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化性 情報なし

10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。 危険有害反応可能性 通常の条件下で安定。

避けるべき条件 長期間にわたる空気又は湿気へのばく露。

混触危険物質 酸化剤。強酸。強塩基。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

<u>急性毒性</u> 区分に該当しない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている

化学名又は一般名			吸入 LC50	
塩化水素	238 - 277 mg/kg (Rat)	> 5010 mg/kg (Rabbit)	= 1.68 mg/L (Rat) 1 h	

略語及び頭文字 Rat: ラット Rabbit: ウサギ

症状 発赤、 灼熱感、 失明を引き起こすおそれがある、 眼の発赤および流涙を引き起こすおそ

れがある

製品情報

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 飲み込むと胃腸刺激、吐き気、嘔吐、

及び下痢を引き起こすおそれがある。

吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 気道刺激を引き起こすおそれ。

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 皮膚刺激。(成分に基づく)。 皮膚接触

眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 重篤な眼の損傷。 眼に対する不可逆

な損傷を引き起こすおそれがある。

皮膚腐食性/刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。 皮膚刺激。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。 薬傷を引き起こす。 重篤な眼の損傷。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 区分に該当しない。 下表は各機関が何らかの成分を発がん性として記載しているかを示す。

化学名又は一般名	日本	IARC
塩化水素	_	Group 3
7647-01-0		·

凡例

国際がん研究機関

グループ3-ヒトに対する発がん性について分類できない

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

標的臓器影響 呼吸器、 眼、 皮膚

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 区分に該当しない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。

長期にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害のおそれ: 呼吸器、歯。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 区分に該当しない。

12. 環境影響情報

生態毒性水生生物に毒性。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性 情報なし。

生態蓄積性情報なし。

土壌中の移動性情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装
空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

IMDG

国連番号又はID番号 UN1789

品名(国連輸送名) HYDROCHLORIC ACID SOLUTION

说明 UN1789, HYDROCHLORIC ACID SOLUTION, 8, III

国連分類(輸送における危険有害性8

 グラス)
 容器等級
 III

 海洋汚染物質
 NP

 EmS番号
 F-A, S-B

 特別条項
 223

ADR

-国連番号又はID番号 1789

品名(国連輸送名) HYDROCHLORIC ACID SOLUTION

1789, HYDROCHLORIC ACID SOLUTION, 8, III 説明

国連分類(輸送における危険有害性8 クラス)容器等級 Ш ERG コード 8L 特別条項 520

<u>IATA</u>

国連番号又はID番号 UN1789

品名(国連輸送名) Hydrochloric acid solution

説明 UN1789, Hydrochloric acid solution, 8, III

国連分類(輸送における危険有害性8 クラス) 容器等級 Ш 特別条項 A3, A803

<u>日本</u>

国連番号又はID番号 UN1789

品名(国連輸送名) HYDROCHLORIC ACID SOLUTION

説明 UN1789, HYDROCHLORIC ACID SOLUTION, 8, III

国連分類(輸送における危険有害性8 クラス) 容器等級 Ш

15. 適用法令

国内規制

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法

<mark>特定化学物質等(特化則)</mark> 特定化学物質(第3類物質)ー労働安全衛生法施行令別表第3(第6条、第9-3条、第21条、第22条関係、及び特定化学物質障害予防

健康診断を要する有害物質

健康診断 - 労働安全衛生法第66条、労働安全衛生法施行令第22条、及び特定化学物質等障害予防規則、別表第5

表示对象物質

法第57条、施行令第18条第1号、第2号・別表第9及び第3号・別表3 通知対象物質

法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表第9及び第3号・別表3

腐食性液体

労働安全衛生規則 第326条第1項に示される、ホースをとおして、動力を用いて圧送する作業を行わせる事業者が特別な措置 を講ずる必要のある腐食性液体

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

船舶安全法

詳細については項目14を参照

航空法

詳細については項目14を参照

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

港則法

詳細については項目14を参照

労働基準法

水質汚濁防止法

人の健康もしくは生活環境に係る被害を生ずるおそれがある物質として水質汚濁防止法第2条及び水質汚濁防止法施行令第3条の 3で定める指定物質

大気汚染防止法

大気汚染防止法第3条に排出基準が規定されている大気汚染物質

大気汚染防止法第17条、第1項及び大気汚染防止法施行令第10条で定める事故時の措置の対象となる特定物質

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

国際インベントリー

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること

16. その他の情報

作成者 改訂日 改訂記録 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety 2022-10-19

この安全データシートには大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例 凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA TWA(時間加重平均)

経皮吸収

天井値

最大限界值 感作性物質

本SDS**の編集に使用した主要参考文献及びデータ源** 環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR) 米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (米国環境保護庁)

EPA (米国環境保護庁) 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所) 米国医学図書館ChemID Plus(NI M CIP)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)

米国国家毒性プログラム(NTP) ニュージーランド化学物質分類・情報データベース(CCID)

世界保健機構

<u>免責事項</u>

であるDSIは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



安全データシート

この安全データシート は以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

改訂日 2022-10-19 **改訂番号** 1.1

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Autoimmune EIA TMB Substrate

カタログ番号 4252273

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者 日本法人/連絡先住所

Bio-Rad Laboratories Inc.
1000 Alfred Nobel Drive
Bio-Rad Laboratories, Diagnostic 140-0002 東京都品川区東品川2-2-24

Hercules, CA 94547 4000 Alfred Nobel Drive 天王洲セントラルタワー20F USA Hercules, California 94547

Hercules, California 94547 バイオ・ラッド ラボラトリーズ USA

株式会社

テクニカルサービス 0120-996598

緊急連絡電話番号diag_jp@bio-rad.com
CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 Invitro実験用試薬又は成分。

GHS **分類** 世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分に該当しない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	7:11

Designation of the property of	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	区分に該当しない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
	区分に該当しない
	区分に該当しない
	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

安全対策

・該当しない

応急措置

・該当しない

保管

該当しない

JGHS / EN ページ 59 / 65

廃棄

・該当しない

他の危険有害性

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 製品には、指定の濃度で健康に対して危険有害性であると考えられる物質は含まれていない。

化学名又は一般名	CAS番号		化審法インベントリ	安衛法インベントリ	安衛法番号
エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム	6381-92-6	1 - 2.5	情報なし	情報なし	

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 変換係数のデータが無い場合は係数は1として算出

化学名又は一般名	政令名称	金属、CN、F、 その他	変換係数	含有率 %	区分	政令番号	管理番号
エチレンジアミン四酢 酸ニナトリ ウム	Ethylenediaminet etraacetic Acid And Its Sodium And Potassium Salts			1.0	第1種指定化学物 質	1-80	595

政令名称を参照

労働安全衛生法

通知対象物質 該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法 水噴霧でドラムを冷却すること

大規模火災 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 **予防措置** 用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること 。

急時措置

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく 限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

生物学的職業性ばく 露限界値 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場 換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

眼及び/又は顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

水溶液 物理状態 液体 色 無色 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

特性 融点/凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 可燃性 <u>唱</u> データなし > 100 ° C

/ 212 ° F データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし 爆発又は可燃の下限界 データなし 情報なし 引火点 蒸発速度 自然発火点 該当しない 情報なし データなし 情報なし データなし 分解温度 情報なし 情報なし

рΗ 粘度

動粘性率 データなし データなし 動的粘度 水への溶解度 水と 混和 溶解度

データなし データなし n ーオクタノール/水分配係数(log値) 蒸気圧 データなし 密度及び/又は比重

相対密度 データなし 相対ガス密度 粒子特性 データなし

粒径 データなし データなし 粒径分布

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化性 情報なし

10: 安定性及び反応性

備考 · 方法 情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

該当しない

該当しない

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。 危険有害反応可能性 通常の条件下で安定。

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

急性毒性

分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

症状 情報なし

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 経口

 吸入
 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

 皮膚接触
 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

 眼接触
 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 区分に該当しない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 区分に該当しない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 区分に該当しない。

12. 環境影響情報

生態毒性 区分に該当しない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性 情報なし。

生態蓄積性 この製品のデータはない。

土壌中の移動性情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

規制対象外 <u>IMDG</u> 規制対象外 <u>ADR</u> 規制対象外 IATA

15. 適用法令

国内規制

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない 2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当する 詳細情報については項目3を参照

労働安全衛生法 該当しない 通知対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない 消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

国際インベントリー

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety 2022-10-19 改訂日

改訂記録 既存情報のフォーマット 変更・更新済。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例 凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置 TWA TWA(時間加重平均) 天井値 最大限界值 経皮吸収 感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質·特定疾病対策庁 (ATSDR) 米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA) EPA (米国環境保護庁)

急性はく露ガイドラインレベル(AEGL) 無国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報である。

日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)

米国国家毒性プログラム(NTP) ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット 世界保健機構

水見乗場 このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり